アメリカ合衆国の労働安全衛生制度について

2023年4月改訂・更新版、タイトルペーパー

中央労働災害防止協会技術支援部国際課

2023年4月

このたび、2021年9月27日に、当国際課のウェブサイトに掲載しました「アメリカ合衆国の労働安全衛生制度」について、①アメリカ合衆国の国情等に関して我が国外務省が令和5年(2023年)4月14日に更新した資料等、②アメリカ合衆国における労働安全衛生関係法令の概要に関して、その労働省労働安全衛生局(以下「US-OSHA」といいます。)がウェブサイトで公開している最新の資料、③US-OSHAがその組織体制と活動状況に関してウェブサイトで公開している最新の資料、④US-OSHAが主要な労働安全衛生対策に関してウェブサイトで公開している最新の資料、⑤安全衛生関係団体の組織及び活動に関する最新の資料、等に基づいて、改訂・更新しました。今回改訂した箇所は、別記のとおりです。

なお、今回改訂・更新した以外の部分は、2021年9月27日に公表した内容を踏襲しています。

(別記)

項目	改訂内容
第 I 部 アメリカ合衆国の国情	我が国外務省のアメリカ合衆国の国情に関して公表している資料(令和5年(2023年)4
	月 14 日版)、最新版の内閣府の主要経済指標等に基づき、改訂・更新しました。
第Ⅱ部 アメリカ合衆国における労働災害発	2023年4月24日現在では、アメリカ合衆国の労働災害統計を担当しているアメリカ合衆
生状況について	国労働省労働統計局(The Bureau of Labor Statistics (BLS))は、①2021 年における死亡
	労働傷害(労働者及び自営業者を含み、さらに連邦、州及び地方自治体の公務員を含む。)に
	関する調査結果) 及び②使用者 (EMPLOYER) が報告した職場における傷害及び疾病—2021

	年」の数化性和について八字(マルフのであるのの)年の即連上で光樹の字体制については
	年」の発生状況について公表しているのみで、2022 年の関連する労働災害統計については
	公表していませんので、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課の関連するウェブサイ
	F .
	(①については https://www.jisha.or.jp/international/topics/202301_05.html)
	(②については https://www.jisha.or.jp/international/topics/202211_21.html)
	で公表しているものを再掲しています。
第Ⅲ部(その1) アメリカ合衆国における	次の各項目について、US-OSHAの該当するウェブサイトの最新の記事、解説等に基づき更
労働安全衛生関係法令の概要	新しました。
	1 1970年のアメリカ合衆国労働安全衛生法の制定
	2 アメリカ合衆国労働安全衛生法の概要
	3 アメリカ合衆国労働安全衛生法の基本的な仕組み
	4 アメリカ合衆国労働安全衛生局(US-OSHA)のホームページに掲げられている使用者
	(employer) 及び被雇用者(employee)の義務
	5 主要な労働安全衛生基準について(一般産業に関する最近最もアクセスされることの多
	い上位 10 位までの安全衛生基準)
	6 アメリカ合衆国の一般産業における労働安全衛生基準の一覧
	7 アメリカ合衆国労働安全衛生局(US-OSHA)の所管するすべての安全衛生基準の一覧
第Ⅲ部(その2) アメリカ合衆国労働省労	US-OSHA における労働安全衛生に係る化学物質の規制の全体像について、最新の内容に基
働安全衛生局(US-OSHA)における労働安	づいて更新しました。
全衛生に係る化学物質の規制の全体像につい	
て	
第Ⅳ部 所管行政機関 (労働安全衛生局) の組	US-OSHA の関連するウェブサイトに記載されている最新の記事等に基づき、改訂・更新
織体制と活動状況について	しました。
第V部 主要な労働安全衛生対策	次の各項目について、US-OSHAの該当するウェブサイトの最新の記事、解説等に基づき
	更新しました。
	1 The Hazard Communication Standard (HCS)(危険有害性周知基準)について

		2 労働安全衛生マネジメントシステムについて
		3 労働安全衛生局の墜落防止キャンペーンについて
第VI部	安全衛生関係団体の組織及び活動	関連する各団体の該当するウェブサイトに記載されている最新の記事等に基づき、改訂・
		更新しました。
第VII部	参考資料・参考文献	上記の改訂・更新を踏まえて、参考資料・参考文献の名称、所在等を改訂・更新しました。